

# NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.06

岡村の最近の注目ニュース  ビジネス予備校近況レポート  B-EAT 会活動報告  What's up?

2019年11月

いつ始めても  
遅すぎることはない。

2019/11

国際環境において、  
年々落ちていく日本人の購買力・・・。

先日地元サウナにいて、そこで働いている韓国人のおばさんといっしょに話してしまいました。彼女の「金がないなら東京に住むのが一番！なんでも安いから。金持ちに住みやすいかは知らないよ。とにかくソウルは物価が高くて。」という発言に、ガーンとショックを受けたからだ。日本だけに閉じ籠っているとわからないであろうこの感覚。

## そのときに自分の身を守る最大の武器は何だろうか？

皆さんには感じてほしい！貧しくなっているんだよなあ～、我々は。

20代のころ仕事でアジアに出張する度に、「ホテルもご飯も安い！何もかもがとにかく安い！！」と思ったものだ。日本のビジネスパーソンは、海外に勤務すれば、特別手当と現地の安い物価のおかげで蓄財できると言われたほどだ。

それが、いまや逆転した。日本企業の縮み志向の人件費管理と発展するアジア各地での物価上昇により、海外転勤は損、日本のなかに籠っている方がお金が貯まる状況になっている。しかし、これはあくまでデフレ環境下における目先のやり過ごし方だ。

このまま日本経済が相対的に縮んでいけば、国際環境における実質給与は目減りを続け、さらには、その仕事自体もなくなってしまうかもしれない。そのときに自分の身を守る最大の武器は何だろうか？

異なる価値観を持つ人たちと協働し相乗効果を生む力だ。まさに EAT のグローバル人財の定義でもある。国籍や言語に関わらず、いま目の前にいる人財の、それぞれの個性に目を向けリスペクトしているか？豊かな多様性の価値を認め、そこから新たな価値を創出するよう努力・工夫しているか？より広い世界に飛び出す気持ちをキープしているか？定期的に自問してみるとよい。

EAT ビジネス予備校においては資産運用や企業分析の学びを大切にしている。海外では当たり前の金融に関するエグゼクティブ教育が、日本ではなぜか特異な切り口に見えてしまう。それが、日本人の”高い視点から世界を見渡し将来を見通す力”の弱さにつながっていると考える。目先の利益ではなく、自身の長期的なキャリアや在り方を考えるために、予備校で身に着けた金融と向き合う姿勢を思い起こし、定着に励んでほしい。そのリターンは、金銭を越えて、巨大なものとなるであろう。

# 将来の自分の生活を守る リスク管理としての 資産運用

元日本生命米国投資現法社長  
ニッセイアセットマネジメント  
CIO 他  
今野 実



日系でも外資でも、金融・資本市場と部下に対する姿勢は一貫して誠実。人格を兼ね備えた運用のプロフェッショナルが語る市場との向き合い方とは。

「資産運用はリスク管理だ」と、言うとう違和感を持つ人がいるかもしれない。EATビジネス予備校の現役世代は模擬運用を通して、また卒業生は自分の資産運用を通して、将来の備えの為に資産を増やすことを目的に一生懸命考えているだろう。

しかし、意識して資産を増やすには相場に勝つ必要が出てくるが、相場の方向性とタイミングを当てることはプロでも難しい。ましてや当て続けることは殆ど（全く？）不可能だ。

それでも、考えれば考えるほど、経験すれば経験するほど、相場の先行きがぼんやりながらも見えてくる。少しでも見通しの精度を上げるために必要なことは、以下の3点であろうと長年相場に向き合う中で感じてきた。

『定観測を行う継続する力』

『相場や世の中の小さな変化にも気が付く眼力』

『自分の過ちを認め、新たに对应する柔軟性』

つまり、日々の積み重ねで新しい時代に沿った見方や考え方を発見し、それを自分のものにする柔軟性が必要になる。

あらためて言うが、個人の資産運用に勝つための相場観は要らない。それでは何故3つのポイントを紹介したのかと言えば、それは必ずしも相場や市場と対峙する人たちだけに求められるものではなく、全ての人にとっても資産運用を行う上で当てはまることだと思っっているからだ。

例えば、給与明細の社会保障費の増加傾向、減少傾向が続くアベノミクスの登場回数と常態化しつつある異常気象と

いった身の回りで起こっている変化に気が付けば、今日本が置かれている状況を何となく理解できるのではないだろうか。



それがリスク管理としての資産運用の第一歩になる。そして、日本企業で働き、日本円で給与を貰い、国内の金融機関や資産運用会社を経由して日本国内の市場で全て運用するといった日本完結型で大丈夫かと自問自答することが大事だ。（注：海外で全て運用すべきだと言っている訳ではない！）

自分が置かれている状況や環境を理解しつつ、勝つことや儲けるためではなく、将来の自分の生活を守るための（失わないという）リスク管理としての資産運用が必要だと思っ。そのために、『学びを継続し、変化に気付き、柔軟に对应する』ことが一人一人に求められている。

## B-EAT ビジネス予備校のOB/OGによる地域を超えた繋がり

### 9月20日に東京と福岡を繋ぐOB/OG会を開催



←こちらは、今回の福岡クラス会場。トヨタ自動車九州が保有する協働協創型コワーキングスペース『Garraway F (ギャラウェイ エフ)』 ※ご好意で無償提供頂きました。



働き方改革をテーマに、福岡と東京におけるテレワークの普及の違いや、そもそも働き方改革とはマクロ視点でどういう意味を持つのか。それを踏まえて自分たちはどうするのか。まさに、EATにおける共通言語「着眼大局、着手小局」をベースに熱く語り合えました。

## What's up?



高村 悠  
Takamura Yu  
EAT ビジネス予備校丸の内クラス (4期生)  
株式会社 Lily MedTech  
第二技術部 ソフトウェアチーム  
マネージャー

創立3年ほどの大学発ベンチャー企業にて、新しい乳がん検診装置に関するソフトウェア開発をしています。EATで学んだことを生かし、世界のどこでも通用する製品を作ることを意識しています。本年よりOB会(B-EAT)の幹事も務めており、影から皆様の活動サポートができればと考えています。今後ともよろしくお祈りします。